



通算第39号

1964~65-2-23

函館北ロータリークラブ

第36回例会

函館3クラブ合同例会

於 五 島 軒

12.30~13.30

れた立派な国ではあるが、それにしても16億の逆転とは驚ろきである。その理由は、イタリア中央銀行総裁が常に苦しい説明をし、為に各国が同情し、殊にEEC諸国の協力が今日の姿をもたらしたと考えられる。

2. 次にロンバート氏は日本に3年連続「大胆不敵賞(蛮勇?)」を与えている。つまり、ハラハラするような経済成長率を示しながら、又国際収支についても危険性を持ちながら、インフレをどうにか食止めているとの意味の様です。

3. イギリスに対しては「最大失望賞」が与えられました。イギリスは目下ボンドの切下げが行われるかどうかが大問題である。日銀総裁はその様な事態が来ない様に祈るとの談話を発表しているが、少しく私見を述べさせていた。先ず2月末に30億ドルの借入金の切替継続が行われるか否かが問題である。次にフランスが強い態度に出られぬ状況である。又平価切下げは国内生産に大きく影響し国民の不幸を招く。結局イギリス政府としては、余程大きなショックのない限りボンドの切下げは行わないであろう。

4. 以上世界の三つの例を申し上げたが、それでは日本経済の将来はどうか。一応日銀としての見通しをお話する。最近公定歩合が引下げられ、社会の士気を鼓舞した感がある。然し国際収支は年間6億ドルの赤字である。この赤字をどうするかが問題である。参考までに申し上げますと、輸出の伸びは39年度22%、40年度は11~12%と予想され、75億ドルと考えられる。一方39年度の輸入は66億ドルで、40年度は9%程度の伸びが可能となる。尚昨年の国民総生産の伸びは15%であった。又物価の上昇率は36年5.2%、37年6.2%、38年7.9%で、39年は公共料金値上げストップのため4%に止つた。兎も角今後の日本経済は、一定した基準をもつて運営されるべきである。

5. 物価上昇抑制に対して諸外国の政策は強烈である。何れの国もインフレを恐れている。日銀の考え方も例外ではあり得ない。私達は色々な困難を克服して、日本の物価の安定をはかりたいと念願している。

※ 出席報告 (前回分)

会員数 28名 当日出席 20名
他ク出席 2名 計 22名 (78.57%)
参考: 函ク 93.46%
函東ク 89.39%

※ 次回 (3月3日) のプログラム

- 1. 年次総会
- 2. スピーチ '俳句について' 俣野会員

本日のプログラム

- 1. 年次総会
- 2. 卓話 俣野会員

- ※ 斉唱 '君が代' '手に手つないで'
- ※ 乾杯 新函館北R.C.会長の音頭で、R.I.の発展を祝福して。
- ※ 新函館北R.C.会長挨拶
私共の北R.C.は、来る5月9日にチャーター・ナイトを行うことに決定しました。R.I.60才(還暦)の時に生まれた小供であります。皆様方の御声援と、チャーター・ナイト迄の多数の御出席をお願いします。
- ※ 相馬函館R.C.会長挨拶
1. R.I.60周年記念日であるので、初めての試みとして3クラブ合同例会を行つたところ、非常に和やかな良い雰囲気であり、今後年に二三回実施してはとの意見も出ております。
2. ガバナー月信が参りましたので主要事項のみ御報告します。
イ 上士幌仮R.C. 例会火曜日 於帯広信金上士幌支店
ロ 第350地区奨学生(新出君)決定。
ハ 函館3クラブのガバナー公式訪問日がきまりました。北クラブは3月9日アツセンブリー、翌10日公式訪問です。
3. R.I.創立60周年記念にあたり、R.I.ベツテンギル会長よりメッセージが来ておりますので朗読致します。
4. 1966~67年度R.I.会長はリチャード・L・エバンス氏。
5. R.I.の現況 127ヶ国 18,989クラブ 約564,000人
- ※ 幹事報告 (代表 函館ク 高木幹事)
1. ガバナー公式訪問に関し御相談したいので、例会終了後各クラブの会長、副会長、幹事、プログラム委員長の方々はお残り願います。
2. 3月10日18時30分より五島軒に於いて、ガバナーの合同歓迎会を行いますので、各クラブ各委員会より1名以上の御出席をお願いします。
3. チャーター・ナイト案内 飯能(4月7日) 春日部(5月6日) 静岡南(5月9日) 草津(5月10日) 秩父(5月15日)



◆ 記念講演

伊部バスト・ガバナー

今日はR.I. 創立60年の記念日である。僅か半世紀の間に、ポール・ハリスがシカゴでつくつた4人のクラブが、現在では誠に驚ろくべきほう大な組織になっている。今後益々この傾向が続くと思う。

ポール・ハリスがロータリーをつくつた動機は何か。彼は田舎から大都会シカゴに出て来たが、友人知己が無く非常に淋しかった。その気持をいやすため、出来るだけ多くの友達をつくる組織を持ちたいと考えた。友達をつくることは、人と人との間に友愛の関係を結ぶことである。即ちfriendshipであり、これを広めるにはお互に理解し合うこと、それに加えるにGood Willが必要である。これが友達をつくつて楽しい人生をつくる基本であり、又ロータリーの基本精神でもある。この友情関係を基礎に外部に働きかけるのが奉仕である。

ロータリーの基本理念である奉仕とは何か。先ずthoughtfulness to others (他人の身になつて)、他人の立場になつて物を考えれば自我が調和され、争いが無くなる。もう一つはhelpfulness to others、つまり他人に役立つ人間になることである。以上の奉仕の考え方は万人共通である。かゝる故にR.I. が僅か60年の間に現在の大組織となつたのであり、今後も成長する運命にある。皆様方は各業界を代表したメンバーである。然し我々ロータリアンは全部聖人でも哲人でもなく、ふつうの社会人である。この世の中に絶対に争いが無いとはいえない。無抵抗主義で、正直物が損をする様ではいけないので、争いは争いとして、その場合にフェアプレイを忘れぬことである。

かつて宮脇バスト・ガバナーがアメリカを旅行した時、小学生から「あなたはロータリアンですね」と言われ、「yes」と答えると、「それではあなたはGood man—良い人ですね」と言われた。アメリカでは小学生でもロータリーを知つていた。Good manはGood Willを持つた人である。我々ふつうの人間は、言動を持つ場合Good Willを持つていれば、常にフェアプレイが行われる。かくて社会奉仕、職業奉仕が出来ることになる。皆様方は将来共good manになつていただきたい。かくしてロータリーの発展が期せられるのである。

◆ 太奏函館東R, C, 会長挨拶

◆ スライド映写(当クラブの24回例会で行つた)

太奏会長さんがエバンストンのR.I. 本部を訪問された時の作品でした。

◆ 出席報告

会員数28名	当日出席20名
他ク出席2名	計22名(78.57%)
参考:	函ク 90.48%
	函東ク 100%

通算第40号

1964~65-2-23

函館北ロータリークラブ

第3回クラブアツセンブリー

於 函館大門 館

18.00~21.00

- テ ー マ ー
1. 年次総会の件
 2. ガバナー公式訪問について
 3. チャーター・ナイトの準備

◆ 出席者

新、遠藤、深瀬、船矢、飯田(貢)、木屋、奥村、青柳、西村、俣野、市川、塚田、山内、森、立花、神原、北村、水上 (以上18名 敬称略)

◆ 司 会 新 会 長

◆ 年次総会の件

来る3月3日の年次総会に於いて新理事を決定しなければならないが、現在迄推薦者が無い。当日迄に補候者を用意しておく必要がある。特別代表、会長及現理事で銓衡しておいて、当日総会にはかゝることに決定した。

◆ ガバナー公式訪問について

1. 概要説明

船矢幹事

公式訪問は3月10日(水曜)で、その前夜即ち3月9日(火曜)17時30分よりアツセンブリーが行われます。会場は明治生命館(或は五島軒)です。アツセンブリーでは各委員長が、各委員会の現在迄の活動経過と今後の計画を報告していただくこととなります。ガバナーから質問があつた場合はそれに答えていただきます。又3月10日(水曜)18時30分より五島軒に於いて、三クラブ合同のガバナー歓迎会を行います。当クラブでは10名の出席を予定しておりますので、各委員長を出席義務者とします。会費は1500円です。

2. 各委員長の発表

3月9日のアツセンブリーでガバナーに報告する予定の各委員会の発表が、以下の順序によつて行われました。詳細は別に印刷する予定です。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| イ 職業奉仕委員会(飯田神生君 幹事代読) | ハ クラブ奉仕委員会(遠藤副会長) |
| ロ 幹事報告(船矢君) | ホ プログラム委員会(西村君) |
| ニ 社会奉仕委員会(北村君) | ト 会員銓衡委員会(塚田君) |
| ヘ 国際奉仕委員会(深瀬君) | |